

講義名	研究演習			
講義コード	45412	授業形態		開講期・曜日・時限
担当教員	森澤 龍也		オンパリング・コード	SEM340

学部・学科	演習分野
経済情報学科	森澤龍也ゼミナール(データでみる現代経済)

概要説明

この演習では、「現代経済の実証分析」を基本テーマとして、経済データや資料などの「証拠」や、これまでの「歴史」的な経緯を踏まえて、「論拠」を大事にしながら、現代経済の諸問題について考えます。受講生のみなさんには自分の選んだ研究テーマに関して「証拠に基づいて議論する」姿勢が求められます。テーマについては、経済に関係していることであれば、どのようなものでも自由です。具体的には、次のような目的で演習を行います。

経済問題に関連する記事・ニュースを理解するために必要な基礎知識を習得することができるようになる。
レポート、口頭報告を通して自己表現力(文章表現力、プレゼンテーション力)を修得することができるようになる。
自分の「問題意識」から「仮説」をたて「実証分析」ができるようになる。

【研究演習(2年次後期)】

時事討論や発表を通して、現代経済の理解のための基礎的な勉強を行います。

受講生の希望を考慮して、PC実習も考えています。

【研究演習(3年次)】

前期は個別研究ないし共同研究、後期は卒業論文のテーマ選択・準備作業を念頭において個人報告を予定しています。

受講生の希望を考慮して、PC実習も考えています。

【卒業研究(4年次)】

卒業論文に必要な文献報告、概要報告、論文作成の個人指導を行う予定です。

主な卒業論文のタイトル

- ・1990年代の日本経済における不良債権問題
 - 日本の通商制について
- ・ガソリンの代替エネルギーで走行する次世代自動車について
- ・日本におけるTOBの実用性について
- ・確定拠出年金『日本版401k』
- ・不安定就労者問題の実態と対策について
- ・地方財政破綻からの再生は可能か
 - 国債について
 - 時が経済に対して与える経済損失
- ・関西圏における三空港の今後の在り方について
- ・戦後日本における流行歌と経済変動との関わり
- ・非伝統的金融政策に関する考察 その導入過程と政策効果の検討
- ・信用金庫の存在意義
- ・日本経済の長期停滞について デフレの要因分析と金融政策の有効性と限界
- ・若者の消費行動の変化
- ・新型コロナウイルス感染拡大と世界の比較、拡大原因の追究
- ・サブカルチャーによる持続的な地方創生は可能なのか

教員よりの要望

ゼミの指導に当たって、重視しているのは、「規律と自由の調和」です。一定の規律のもと、自由な発想に基づき、自発的に活動することができれば、ゼミは必ずとまり豊かなものになると考えております。

選考方法

基本的には提出書類および当ゼミ個別ガイダンスへの参加状況によって選考します。

評価方法
出席状況、課題提出、口頭発表による評価。授業日数の3分の1以上欠席するとゼミを放棄したものとみなします。

教員英字氏名	研究室
Morisawa Tatsuya	研究棟 3402研究室

最終学歴
関西学院大学大学院経済学研究科博士課程後期課程

学位
博士(経済学)(関西学院大学)

主な研究活動・社会活動・研究業績
2008年、『資産市場と実体経済 日本経済の計量分析』、千倉書房。 2015年、『レクチャー&エクササイズ金融論』、新世社。

趣味・特技
多少、収集癖および放浪癖あり

所属
経済学部経済情報学科

所属学会
日本経済学会 日本金融学会 日本財政学会

専門分野
応用計量経済学 金融論 日本経済論

担当科目
現在の担当科目: データでみる現代経済 経済情報処理 ・ 計量経済分析 経済学特講(証券経済論) など 過去の担当科目: 金融機関論 ファイナンスシステム論 など

備考

実務経験の有無及び活用
実務経験なし